

76 在米留學生菊池武夫・小村寿太郎他四名の学業に付留學

生監督目賀田種太郎報告の件回達〔明治十年九月五日〕

〔朱書〕
〔学第千七百二十号〕

在米留學生監督目賀田種太郎ヨリ生徒ニ付諸校ヨリノ報告第

1) 十五号ヨリ第十八号迄原訳文相添別紙之通申来候ニ付御一閱ノ
為及廻付候条右原文ハ御覽濟之上御返戻有之度候此段申進候也
(欄外注記)

明治十年九月五日
文部省学務課長
東京大学法理文三学部総理御中

(朱書)
〔第三十式号〕

生徒ニ付諸校報告第十五号及第十八号迄原訳文共差進候右ニ相
見候通三浦和夫小村壽太郎并ニ菊地武夫^(池)ハ夫々卒業法律得業士
ノ称号ヲ受ケ申候尚法士等ニ從ヒ研業之儀ト心組居候齋藤脩一
郎儀ハ此程病氣ニ付通学見合候様送致之申付有之依テ引籠リ居
右ニ列セズ候事ニユーヨルク鉱山学校ヨリハ未タ其報告差越不
申但シ右校在生徒ハ当省採鉱実地ノ延行中ニ有之候其ノ勉強
ナルトハ校長ヨリ承リ候右御報仕候也

明治十年七月廿七日 留学生監督 目賀田種太郎

文部大輔 田中不二磨殿

今季 原口 平井兩氏ノ試験報告ヲ呈進スルヲ喜ブ、二君共最
良ノ生徒中ニ在リ、然シ今全ク第四年級ニ進入セラレタリ
今学年 平均点 原口 三、七 平井 三、七
五点ヲ最高トス

然シテ生徒ノ四点ニ達スルモノ甚タ希ナリ又右ノ点ニ至ルモノ
少シトス

千八百七十七年六月九日 ウイルリヤム エル アダムス

ジュニヲル

附表

日本文部省 目賀田種太郎殿

千八百七十七年夏期レンセレール「工学校」諸芸学校第三年級

学科、 人名、 成績

原口要
平井晴次郎

ランヨナル メカニックス 経タリ

デスク ヴプチブ星学 同

メンインコンストラクション理 同

同 実 同

ミネラロジイ及リソロジイ 同

地質学 同

実地精味学、第二部 同

(朱書)
〔報十六号〕

高キ報ヲ付スル三浦氏ノ報告ヲ進スルヲ喜ブ 敬具
千八百七十七年六月十二日

ニューヨルクコロンビア法学校長

セヲドレ ダブリユ ドワイド

目賀田種太郎殿

三浦和夫氏ノ当校ニ於テ其ノ学問ニ信切ニ又首尾能ク注意セラ
ルト其行状ヲ証スルハ余カ最モ喜ブ処ナリ、過期ノ間御同人
ハ最満足ナル進ミヲナサレタリ、其学課ニ規則正シク満全ニ勉
メラレシノミナラズ仮訴訟ニ精密ニ用意ナサレ明瞭ニ又理ニ叶

ヒテ論セラレタリ、其学問ニ勉強ニシテ又其他ノ廉ミニ於モ其友ノ信ニ応ジ御振舞ニ付向後最も良キ法士トナラレンコトヲ察シ候

校長セヨドレ ダブリユ ドワイト

〔朱書〕
〔報十七号〕

此校ニ於テ齋藤氏菊地氏共ニ榮ヘアル位ヲ得ラレタルコトヲ告ルノ誉レヲ有ス齋藤氏ハ其試験ニ參ズルヲ得ラレザリシ菊地氏ハ

用達、 請合解キ放シ 為替及ヒ覚書

約束、 刑法、 公当法

証拠法 諸難請合 訴訟手続

不動産 売リ渡シ 遺言

私罪

等ノ諸法課ノ試験満足ニ経ラレ去ル卒業式ニ於テ法律得業士ノ称号ヲ受ラレタリ尚又他ノ日本若年ヲ教フルヲ得ハ幸甚ナリ

敬白

千八百七十七年六月十五日 ポストン大学法学校長

エトモンド エツチ ベネツト

日本ノ文部省 目賀田種太郎殿

〔朱書〕
〔報十八号〕

小村壽太郎氏ガ其学問ヲ修スルニ毎ニ勉強ニ又効果アルコトヲ余ハ証スルヲ喜ブ去六月ノ毎年試験ニ其ノ毎課ヲ経ラレシノミナラズ之レヲ平均スレバ其称号ヲ附与スルニ要セラル点ヨリ、二

割超過セラレタリ其行状ハ又範例タルヘキ程ナリキ其ノ諸ノ務ヲ果サル、ニ正シク又敏ナルトハ比ヒアルベキニアラス、尚又一年此校ニ滞学ヲ企ラル、ヨシヲ聴クハ余ガ最モ喜ブ処ナリ

敬具

千八百七十七年七月十八日 ハーバルド大学法学校

シージャー、ラングデル

目賀田種太郎殿

〔欄外注記〕

〔朱書〕
〔答済〕

〔文部省往復〕明治十年分四冊之内乙号、㊦A 19